

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院間脳下垂体外科科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等が診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2024年4月1日 ～ 2025年3月31日の間に、下垂体部腫瘍のために虎の門病院間脳下垂体外科または小児科に入院し、内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術を受けられた方

【研究課題名】

経鼻頭蓋底手術における鞍底再建方法の検討

【研究の目的・背景】

近年急速に発展している経鼻頭蓋底手術は、確実な頭蓋底再建方法の確立と共に進歩してきました。頭蓋底再建の成功のいかに術後髄液漏や術後髄膜炎などの、重大な合併症発生に關与しています。虎の門病院間脳下垂体外科は下垂体腫瘍や頭蓋咽頭腫をはじめとする、経鼻頭蓋底手術におけるハイボリュームセンターであり、当科で行われる手術の後方視的省察と手技の明文化と発信は、他施設における術式の標準化や合併症の予防にも波及効果をもたらすと考えられます。特に再建術式の工夫や適応の明確化、術中判断の基準の共有は、全国的な医療の質の向上に直結するものです。さらに、手術合併症の発生率を低減することは、入院期間の短縮や医療資源の効率的運用にも貢献し、公衆衛生の観点からも極めて重要です。本研究は、経鼻頭蓋底手術における安全性と確実性を高めるための実践的知見を蓄積・共有することを通じて、我が国における頭蓋底手術の発展と患者予後の向上、ひいては国民の健康維持・増進に資することを目的としています。

【研究期間】

2025年9月19日 ～ 2028年3月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院 において研究終了後 5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

診療情報を虎の門病院以外に持ち出す予定はありません。

【利用する診療情報】

診療情報：検査データ、診療記録、心電図、MRI 画像データ、手術動画

【研究代表者】

所属している施設名 虎の門病院

診療科名 間脳下垂体外科

氏名 登坂雅彦

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：間脳下垂体外科 登坂雅彦

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

虎の門病院 間脳下垂体外科 福原紀章

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2026年1月31日 までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 間脳下垂体外科 登坂雅彦

電話 03-3588-1111(代表)